

# 令和7年度 2級造園施工管理技術検定 2次試験 解答試案

## 【問題 1】

- (1) (イ) (A) 1.2  
(B) 70  
(C) 最長と最短の値の平均値  
(ロ) (a) ○  
(b) しゅろ縄  
(c) くぎ打ちのうえ  
(d) 鉄線  
(e) 上  
(ハ) 1) A 追肥  
B 緩効  
2) 高木の場合、枝張りの外周線直下、円形になる地上投影部分を施肥位置の目安にする。その円形に沿って深さ 20cm 程度の溝を掘って、その溝底に平均的に輪状に肥料を敷き込む輪肥、放射状の直線溝に施肥を行なう車肥、円形の所々に縦穴を掘って施肥を行なう壺肥がある。
- (2) (イ) A 穴上げ  
B 根巻き  
C 植穴掘り  
(ロ) ① 根鉢の軽量化と崩れの防止  
② 移植先での雑草繁茂を抑える  
(ハ) A 支持根  
B 断ち  
(ニ) 幹に近い枝から外枝へ、梢から下方へと進め、太い枝や強固な枝、折れやすい枝などは、枝の元から枝先方向に向かって 3cm ほどの間隔で縄を巻きつけながら枝を幹に徐々に引き付けていく。  
(ホ) 樹木の裏や表、周辺の景観などを考慮して、見栄えが最もよくなるよう樹木を立込み、植栽位置の微調整を行なう。  
(ヘ) A 半分  
B 水極め  
(ト) 鉢の直径に合わせて土を盛り上げ、土手を作る。あるいは幅の浅い溝を掘り、根鉢内に水が十分に行き渡るように灌水を行なう。この時、決壊して水が流れ出ないように注意する。

- (3) (イ) ①正常な葉形、葉色を保ち、萎縮、徒長、蒸れがなく、生き生きとして  
いること。  
②全体に均一に密生し、一定の高さに刈込んでいること。  
(ロ) ①砂を厚さ 4～5cm 程度平に敷くことで、水はけをよくする。  
②目土を入れて表面の凹凸を均し、表面排水を確保できる勾配をとる。  
(ハ) 目地張り  
(ニ) ・畑土など良質な土壌を葉が半分ぐらい隠れるようにかける。  
・均し板、ローラー等  
(4) (a) 天候その他に基づく作業不能日数  
(b) バーチャート工程表

## 【問題 2】

- (1) ①一日の作業上の注意事項や禁止事項。  
②危険の予知、及び指差呼称の励行の指示。  
③一日の作業手順や作業工程の確認。  
④一日の作業における災害の事例など。  
⑤互いの体調や個人保護具のチェック。  
・・・等
- (2) (イ) ①運転中の車両系建設機械に接触する恐れのある箇所に、労働者を立入  
らせてはならない。  
②誘導者を置く時は一定の合図を定め、誘導を行なわせるとともに、運  
転者もこの合図に従う。  
(ロ) (a) ○  
(b) 大きく  
(c) 重心  
(d) 6  
(ハ) 地盤は平坦な場所とし、地盤の強弱、埋設物破壊の危険がある場合は、  
転倒防止のため必要な広さ、及び強度を有する鉄板等を敷設し、アウト  
リガーを最大限に張り出す。  
(ニ) ・ワイヤーロープ  
・フック つりチェーン  
・巻過ぎ防止装置  
・過負荷警報装置、その他の警報装置等
- (3) (イ) 保護メガネ(ゴーグル)、すね当て、草刈り用エプロン、腕カバー  
・・・等  
(ロ) A 暑さ  
B 塩分  
(ハ) キックバックの恐れがあるので、エンジンを停止し、不意に刈刃が作動  
しない状態にし、刈刃に巻きついた草や異物を取り除く。